

外部評価軽減要件確認票

事業所番号	2396300036
事業所名	グループホーム豊根の家

【重点項目への取組状況】

重点項目①	事業所と地域とのつきあい（外部評価項目：2） 事業所内は従姉や親戚、同窓生と顔見知りや馴染みの利用者同士ばかりで、中にはお嫁さんが職員という人もいます。「地区の人が何人も入居しているからね」と、柿や蜜柑、ジュース、饅頭を差し入れてくださる住民の来訪では、コロナ禍ながら大歓迎として駐車場でわずかな時間でもふれあいを楽しみ、「(コロナが終息したら)事業所イベントに招待しようね」と、新たな関わりへの兆しがあります。	評価 ○
重点項目②	運営推進会議を活かした取組み（外部評価項目：3） コロナ禍となって2年近く5回の書面開催となり、管理者が2ヶ月分の活動状況を書面にまとめ「意見をお待ちしています」と添えてメンバーに送付していましたが、3月からは通常開催で「集まる」ことができています。「家族と地域とつながりを大切に」と理念に謳っているだけあって、運営推進会議は行政と地域、家族、事業所とで満遍なく構成され、協議の内容もさながら地域ケア会議かのように、地元に即しています。	評価 ○
重点項目③	市町村との連携（外部評価項目：4） 「PCR検査をなんとかお願いしたい」といったことをはじめ、「今、なんとかしたい問題」について運営推進会議を通じて訴えることができるとともに、要望にはきめ細かな配慮を以て対応してもらえ、村役場には常に助けられています。特に役場課長へとつながる防災連絡網が築かれていることと、運営推進会議メンバーにも連絡網に加わってもらえていることは心強い限りです。	評価 ○
重点項目④	運営に関する利用者、家族等意見の反映（外部評価項目：6） コロナ禍前までは年2回ぐらいは外食していて、年齢的にも食えることが大きな楽しみであるため、「何食いたい？」は日常的に尋ねています。食べたいものを提供するとともに、帰宅願望が強い人には寄り添って話を聴くよう努めています。また条件付きで駐車場のベンチにて面会を実現させており、家族と利用者本人の「会いたい」要望に応えています。	評価 ○
重点項目⑤	その他軽減措置要件 ○「自己評価及び外部評価」及び「目標達成計画」を市町村に提出している。 ○運営推進会議が、過去1年間に6回以上開催されている。 ○運営推進会議に市町村職員等が必ず出席している。	評価 ○ ○ ○
総合評価		○

1. 外部評価軽減要件

- ① 別紙4の「1 自己評価及び外部評価」及び「2 目標達成計画」を市町村に提出していること。
- ② 運営推進会議が、過去1年間に6回以上開催されていること。
- ③ 運営推進会議に、事業所の存する市町村職員又は地域包括支援センターの職員が必ず出席していること。
- ④ 別紙4の「1 自己評価及び外部評価」のうち、外部評価項目の2、3、4、6の実践状況（外部評価）が適切であること。

2. 外部評価軽減要件④における県の考え方について

外部評価項目	確認事項
2. 事業所と地域のつきあい	(例示) ① 自治会、老人クラブ、婦人会、子ども会、保育園、幼稚園、小学校、消防団などの地域に密着した団体との交流会を実施している。 ② 地域住民を対象とした講習会を開催若しくはその講習会の講師を派遣し、認知症への理解を深めてもらう活動を行っている。
3. 運営推進会議を活かした取組み	(例示) ① 運営基準第85条の規定どおりに運用されている。 ② 運営推進会議で出された意見等について、実現に向けた取組みを行っている。
4. 市町村との連携	(例示) ① 運営推進会議以外に定期的な情報交換等を行っている。 ② 市町村主催のイベント、又は、介護関係の講習会等に参画している。
6. 運営に関する利用者、家族等意見の反映	(例示) ① 家族会を定期的（年2回以上）に開催している。 ② 利用者若しくは家族の苦情、要望等を施設として受け止める仕組みがあり、その改善等に努めている。 ③ 家族向けのホーム便り等が定期的（年2回以上）に発行されている。

【過去の軽減要件確認状況】

実施年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	R元年度
総合評価	—	—	—	—	—	—	○	○	○	○	○
実施年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	R11年度	R12年度
総合評価	◎	○									

【備考欄】

--